

ARAI

NEWS

(株)新井広武

〒330 埼玉県大宮市東町2-12

☎0486(41)3825-7

Arai・500

AUSTRALIA GP/ENDURANCE RACE

☎はアメリカ、ヨーロッパを始めとして、数多くの国々に輸出されている。と同時に、それらの国で様々なレースのサポートもしているが、中でもオーストラリアは、☎がNo1のシェアを占め、絶大な信頼を集めている国の一つだ。そのオーストラリアで行われるビッグなレースが今回紹介する☎500である。

オーストラリアでは、毎年4月のイースターになると、4 DAYS OF BATHURSTというこの国最大のレースが開催される。これはブラクネスを含め4日間に渡り行われる一大イベントで、サイドカーレース、ヒストリックカーレース等を含め全部で18ものレースが行われる。そして、そのメインにあたるのが日曜日に行われるスプリントレース、オーストラリアGPともう一つ、土曜日のエンデュランスレース、☎500の二つだ。これらは全豪にテレビ中継される程と云えば、その規模を想像して頂けるだろう。

☎500は由緒あるエンデュランスレースで、現地の☎インポーターがスポンサーとして☎の名を冠して行われるようになってから、今年で既に6回目になる。レースは750ccから1,000ccのスーパーバイク、70台近くが、81周500kmを走破する。昨年の鈴鹿8時間に出場したアンドリュー・ジョンソン、マルコム・キャンベルは、このレースの常勝チームでもある。今年のレースでは、激しいトップ争いの末、スズキに乗るニュージーランドのロジャー・ブレースが見事栄冠を勝ち取った。ホンダのジョンソンは、今年がケガのため出場出来なかったが、キャン

ベルはもう一つのメインレース、オーストラリアGPで2位と健闘した。

4 DAYS OF BATHURSTの舞台は、マウンテン・ドッグ州立公園の中、普段は周遊道路として使用されている公道で、しかも、グリーンがないアップダウンの激しいスリリングなコースである。その全長は6.172km、高低差は162mもあり、長いストレートと、壁と谷で囲まれた峠道を組み合わせたもので、設備の整った日本のサーキットを思われた人には信じられないような苛酷なコースだ。

この☎500を初めとしてオーストラリアのレースは、路面のミューの低いコースで、マシンもほぼストックに近いイコールコンディションの条件下、数多くのライダーが参加してデッドヒートを繰り広げる。だから、サーキットやマシンと比較してライダーのレベルは非常に高く、世界に通用するようなライダーもごろごろいる程だ。そして、こんなスリリングなコースを走るレベルの高いライダーだからこそ、装備にも人一倍気を使う。そんなライダーが選ぶのは☎。今回の4 DAYS OF BATHURSTでも全体の70%以上のライダーが☎を被り、レースによってはトップの12人中11人までがそ



うだったのには、☎自身びっくりした程だ。

オーストラリアに行くと☎は、輸入税等で日本で買うより3割程割高になってしまいが、それでも☎は絶大な信頼を集め、スベンサー、クーリー等のレプリカモデルも、cLe RX-7をベースにして作った高価なものまで大きな需要がある程。また、ヘルメットについては規制が厳しく、オリジナルペイントもあまり出来ないため、オーストラリアではトップライダーを初めとして数多くのライダーが、スーパーイベントあるいはスベンサー、クーリーのレプリカモデルを市販のまま被っている例が非常に多い。

世界GPでは数多くのオーストラリア・ニュージーランド出身のライダーが活躍しているが、彼らも必ずこのバザーストは経験したライダー連である。☎でも以前行っていったような留学生制度を再び行なう時は、今度この4 DAYS OF BATHURSTをと考えている。そこで、対象となる国内の有望な若手ライダーを探すため、☎レーシングサービスのスタッフには、目を光らしているようハッパをかけている今日この頃だ。

